

らくのへ 議会だより



バトンをつなげ!!

9月13日、町総合運動公園で町小学校陸上競技大会が開かれました。さまざまな競技のラスト種目は400メートルリレー。参加した6年生の男子選手たちの迫力ある走りに応援も力が入ります。アンカーにバトンが渡り、ラストスパート!!

【平成29年度決算】

一般会計・特別会計を慎重に審査 …… 2

【決算特別委員会】

全国唯一の電子投票、休止へ …… 4

【一般質問】

ふるさと納税や定住促進事業など2人が質問 …… 8

【若者との意見交換会】

若者の選挙投票率、アップさせるには …… 13

特別会計38億円を認定

重点整備しました

9月定例会が9月7日から13日までの日程で開催されました。

平成29年度の一般会計および各特別会計の決算では、詳しく審議するために決算特別委員会を設置しました。2日間の期間を設け、11日は一般会計、12日は特別会計を慎重に審議した結果、全員賛成で原案のとおり認定しました。

(決算特別委員会で出された質疑は、7ページをご覧ください)
また、定例会の本会議では、平成29年度健全化判断比率の報告をはじめ、条例改正や補正予算、人事案件を含む17件を原案のとおり可決、同意しました。(詳しい内容は、4、5ページをご覧ください)



記念式典

町制施行60周年記念事業 274万円
→平成29年10月1日、六戸が村から町になって60年の節目を迎えたため、記念式典を行いました。

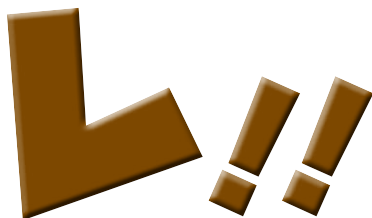


学校の用地整備

大曲小学校用地整備
第1期工事 2761万円
→保護者の駐車場や学校活動用地を整備しました。

にんにくウイルスフリー種子
購入助成事業補助金 485万円
→種子購入代金の4分の1以内
(上限5万円)を助成。
121人が申請をしました。

注目事業は



車輛更新

平成29年度会計別決算の状況

(金額：万円)

会計の種類	歳入(収入)	前年度との比較	歳出(支出)	前年度との比較
一 般 会 計	56億4928	△3億7977	54億8339	△3億5505
国民健康保険事業	14億679	△4134	13億7605	△5317
下水道事業	2億8186	△479	2億8186	△479
特 別 会 計				
農業集落排水事業	1億5209	1873	1億5209	1873
介護保険事業	14億4594	3303	14億991	1195
後期高齢者医療	1億1746	988	1億1730	1064
霊園事業	918	15	918	15
国民健康保険診療所事業	4億3299	- ※	4億3299	- ※
特別会計の合計	38億4633	-	37億7938	-

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てているので、合計額と一致しません

※診療所事業は、平成29年10月から特別会計になりました。

よって、前年度との数値を比較できないため、「-」と表記しています

町長から報告された 財政健全化比率を紹介します

○ 実質公債費比率

28年度 10.5%
29年度 10.0%

早期健全化基準 25.0%

※数値が大きいほど経費や借金の支払いが大きく、財政運営が大変な状況を示します。

一般会計56億円、

学校教育関連を

監査意見

健全な財政運営で 適正水準

平成29年度一般会計歳入歳出決算及び各特別会計は適正水準であった。

財政運営は、町債（町の借金）の残高を減らし、各基金（町の貯金）へ積み立てを行い、前年度同様、健全な運営であったと評価できる。財政力指数や経常収支比率等の財政指標の動きも適正な範囲内での増減だったと認められる。

引き続き、行財政改革に積極的に取り組むとともに、より効果的で効率的な財政運営を行ってほしい。

税や使用料の 適切な徴収を

町の収入源である税や使用料などの収納率の向上は見られたものの、滞納率が上回っていた。

財源の確保や利用者負担の公平・公正から、より一層の債権管理を強化し、適切な徴収に努めてほしい。



決算を審査している
吉田透代表監査委員(左)と母良田昭監査委員(右)



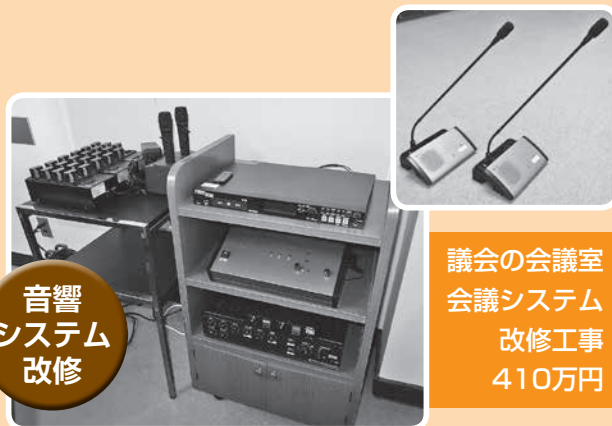
学童
保育所
増築



購入補助

大曲小学校なかよし会
学童保育所増築工事 2052万円
→76平方メートルを増築しました。

昨年度の

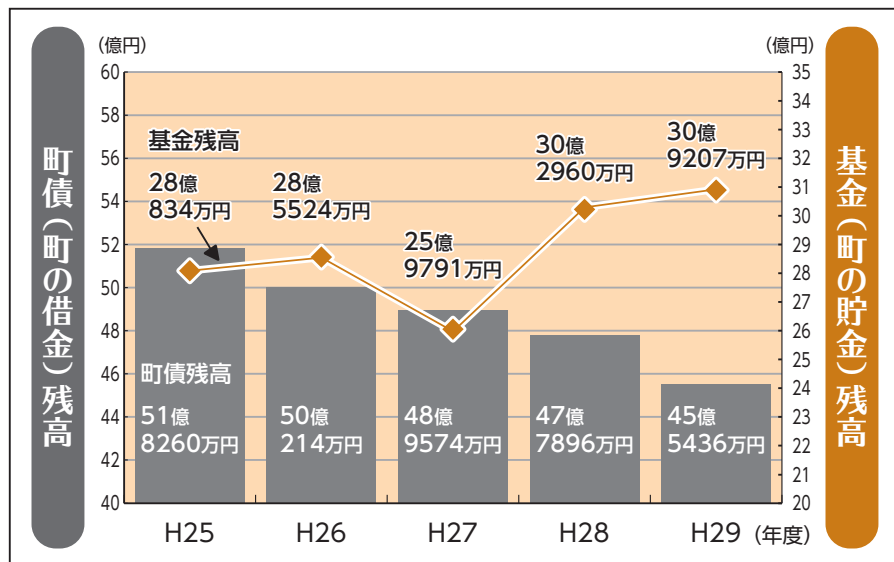


音響
システム
改修

議会の会議室
会議システム
改修工事
410万円

小型動力ポンプ付積載車
(第4分団：鶴喰、小平、
柳町) 1544万円

町の借金っていくら？貯金はどのくらい？



過去5年間の町の借金と貯金の残高をグラフ化したもの。借金は減り、貯金は増えている。

全国唯一の電子投票、休止

条例改正

◆町議会議員および町長選挙の電子投票を休止

六戸町では電磁的記録式投票機を使った選挙（電子投票）を行っていましたが、平成30年10月以降の電子投票による選挙は当分の間休止となります。

が、いつまでか

吉田町長

具体的には申し上げられません。国会と総務省選挙部と相談し、電子投票が可能になるときに、また再開すると思います。

高坂茂 議員

国で電子投票を実施することが決まったら、それを受け入れてやっていくのか

吉田町長

国で電子投票の実施が決まれば行いたいと考え

ています。

重光 議員

電子投票の実施団体は全国でも六戸町だけだ。「当分の間適用しない」という曖昧な言葉を条例に載せていいものか

吉田町長

この条例をいったん白紙にして新たに、というのも一つの方法かもしれませんが。ただ、今までの経過を踏まえた中での状況にしたいので、ご理解いただきたい。

六戸町 電子投票休止までの流れ

①導入経緯…全国で相次ぐ選挙事務のミスの改善、選挙結果の迅速な公表が求められていた。

➔電子投票がベスト！

平成15年9月11日、町議会の議員および町長の選挙に電子投票機による投票を定める条例を町議会に提案→可決

②六戸町長選挙（平成16年1月18日）

➔町で最初の電子投票を実施

- 投票総数 7,195票
- うち、有効投票 7,193票
- 無効投票 2票
- 投票機の操作を途中で終了した者 61名
- 開票所要時間23分（電子投票分は約10分）

③その後、町議会議員選挙も同様に電子投票で実施。平成30年9月現在まで電子投票による選挙を6回執行したが、六戸町では一度もトラブルはなかった。

④平成30年2月26日、電子投票の機器をリースしてきた団体が、新しい機器を供給できなくなり、電子投票の実施が難しくなった。

➔同年9月、電子投票機による投票を休止とする条例改正を議会に提案→可決



財産取得

◆超音波診断装置

国民健康保険診療所で、超音波を使って身体の検査を行う装置を導入します。

人事案件

◆教育委員

次の方を教育委員に同意しました。任期は平成33年9月13日まで3年間です。

下田 勝さん

◆固定資産評価審査委員会委員

補正予算

◆一般会計5094万を増額

平成30年度一般会計補正予算では、歳入歳出に5094万円を増額し、総額62億9964万円となりました。

◆除雪業務ほか

(4628万円)

◆メイプルタウンフェスタ事業（仮設ステージとトイレの設置）

(102万円)

現在、町総合体育館が改修工事で使用できないため、屋外に設置します。

請負契約

◆大曲小学校校舎を防音仕様に（856万円）

現在、大曲小学校校舎の増築工事を行っています。助金の決定があったため、サッシなどを防音仕様に変更します。変更後の請負金額は、2億7424万円です。

審議した議案と各議員の



・賛成が○、反対は×と表示しています。
 ・退は退席、欠は欠席を表示しています。
 ・円子徳通議長は裁決には加わりません。

議案番号	議案名	長根一男	種市正孝	杉山茂夫	久田伸一	高坂茂	下田敏美	川村重光	河野豊	母良田昭	山本実	苫米地繁雄	審査結果	採決日
議案45※	工事の請負契約 (大曲小学校校舎の防音事業改築工事2億6568万円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	7月17日
報告3	29年度青森県新産業都市建設事業団の事業の決算報告 (金矢工業用地造成工事に関わるものを含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告	9月13日
報告4	29年度六戸町健全化判断比率の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告		
報告5	29年度六戸町資金不足比率の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告		
認定1	29年度六戸町一般会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定		
認定2	29年度六戸町国民健康保険事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定		
認定3	29年度六戸町下水道事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定		
認定4	29年度六戸町農業集落排水事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定		
認定5	29年度六戸町介護保険事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定		
認定6	29年度六戸町後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定		
認定7	29年度六戸町霊園事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定		
認定8	29年度六戸町国民健康保険診療所事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定		
議案46	六戸町防災会議条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	9月13日	
議案47	六戸町議会の議員及び六戸町長の選挙における電磁的記録式投票機による投票に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案48	六戸町記号式投票に関する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案49	六戸町ひとり親家庭等医療費給付条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案50	六戸町乳幼児医療費給付条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案51	六戸町重度心身障害者医療費助成条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案52	六戸町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案53	30年度六戸町一般会計補正予算(第2号) (5049万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案54	30年度六戸町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) (291万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案55	30年度六戸町下水道事業特別会計補正予算(第1号) (43万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案56	30年度六戸町介護保険事業特別会計補正予算(第1号) (2613万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案57	30年度六戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (29万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案58	30年度六戸町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算 (第2号)(114万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案59	財産の取得(超音波診断装置:918万円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案60	工事の請負契約の変更(大曲小学校校舎の防音改築工事856万円を追加。変更後は2億7424万円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
同意3	六戸町固定資産評価審査委員会委員の選任 (吉田桓紀氏=上吉田、再任)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意		
同意4	六戸町教育委員会委員の任命(下田勝氏=七百、新任)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意		

※7月17日に開かれた臨時会で提出された議案です。

みんなのお金

掘り下げて、聞く!!



平成29年度の一般会計、各特別会計の決算を認定するかどうかを審議する決算特別委員会（高坂茂委員長・委員11人）は、9月11日、12日に開かれました。

委員から多くの質疑があり、審査の結果、すべての会計が認定となりました。
一般会計で出された質疑を要約してお知らせします。

歳入

「黒字」の考え方

問 山本 実 委員

歳入から歳出を差し引いて1億6500万円とあるが、これは基金を取り崩しての金額である。基金（貯金）を崩しての「黒字」は違和感を覚える。会計法上、問題はないそうだが、説明を

答 岡子企画財政課長

一般会計の中に収入として見込めるものは収入にとらえます。よって、

問 下田 敏美 委員

町長の提案理由の説明で、太陽光発電施設の増加によって歳入が増えて、地方交付税が減ったと言っていた。町内の太陽光発電施設の面積と固定資産税額はどのくらいか

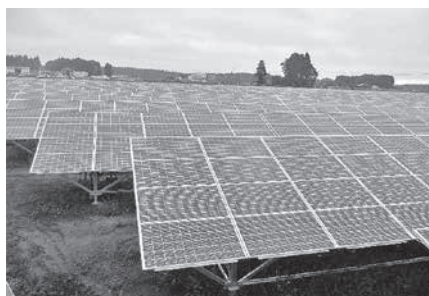
答 吉田税務課長

29年度決算では、面積

ソーラー発電による税収入

基金の取り崩しも収入の一つです。その差し引きが黒字か赤字かという、それだけの表現です。

は79軒、固定資産税額は5400万円程度となりました。



町内に多く見られるソーラー発電群

入湯税の増加

問 下田 敏美 委員

入湯税で2225万円とある。一日あたり40

6人が利用している計算になる。結構すごい金額だと思う。

これからも税額を増やすためにも、町の観光について、今後の支援策を伺いたい

答 吉田町長

入湯税については、ありがたい状況で推移していると思います。

しかしながら、入湯関係というより観光全体への支援として考えたいと思います。今後の動向を踏まえ、対応します。

歳出

固定資産税の不納欠損金

問 川村 重光 委員

税収が28年度より増えた反面、不納欠損金も増えている。とりわけ、固定資産税の不納欠損金が600万円もある。詳しい内訳は

答 吉田税務課長

固定資産税の不納欠損の理由ですが、主な内訳として、まず、滞納処分として、滞納処分の執行停止後3年経過したもののについては、生活困きゆうによるものが11

件66万円。次に、差し押さえる財産がない21件と法人の廃業1件で92万円、最後に5年経過による時効で欠損された27件467万円、となります。

ふるさと納税の返礼品目

問 下田 敏美 委員

ふるさと納税の寄附謝礼として10万6千円とある。魅力ある品目として、町内にあるゴルフ場の利用券や無料券、温泉宿泊施設の一泊無料券、この2つを追加してはどうか

答 保土澤副町長

ふるさと納税の寄附謝礼は寄附額の3割以内という総務省の見解もありますので、それらに抵触しないように検討したいと思っています。

プレミアムシャモロックの今後

問 河野 豊 委員

プレミアムシャモロックの生産を支援する補助金として35万円がある。「プレミアムシャモロック」は六戸の名産品ということで名前は売れてきているものの、生産者

は3人しかいないためか実物が手に入りにくい。町民の方からもよく聞かれる。町としての将来的な見通しは



青森シャモロック・サ・プレミアム#6(ナンバーシックス)

答 高橋産業課長

プレミアムシャモロックの肉が手に入りにくいのは、県からのひなの供給量が限られているのが理由の一つです。よって、生産者が少なく、生産羽数も限られているのが現状です。

次に、町内での販売箇所は、原則的に町内の飲食店へ優先的に卸しており、精肉は道の駅へ出荷しています。

今後の見通しは、ひなの供給量の増加を県が対応してくれることになり

次のページは 一般質問

9月定例会の4日目に一般質問が行われ、杉山茂夫議員、種市正孝議員が登壇しました。

一般質問は、3月、6月、9月、12月に行われる定例会において、議員が町の施策の状況や将来の方針などについて、問いただしたりすることをいいます。

質問者と内容



すぎやま しげお
杉山 茂夫 議員

8ページ

- ① 県道押込交差点の交通安全対策は
- ② ふるさと納税の今後の対応は
- ③ ラジオ体操の普及を図るため、N HK巡回ラジオ体操の招致の考えは



たねいち まさたか
種市 正孝 議員

9ページ

- ① 新たなる定住促進事業を

一般質問とは

- ・ 定例会に限り、町政全般に関して議員が質問できます
- ・ 質問項目は事前の通告が必要です
- ・ 質問者の順番は通告した順番で行われます
- ・ 質問形式は「一問一答方式」で行います
- ・ 同一項目について質問の制限はありません
- ・ 一人60分の制限時間があります



決算書と決算報告書をもとに審議

↑
ましたので、増産を目指したいと考えております。また、生産者の問題も、シヤモロック生産組合と産業課、ブランド研究会と一緒に生産者の育成に努めたいと考えます。

鳥獣の捕獲

問 河野 豊 委員

鳥獣捕獲等許可申請・許可証交付として、カラスを86羽捕獲したとある。決算報告書に金額の記載はないが、詳細は、また、狩猟や捕獲に携わっている団体を知りたい

答 高橋産業課長

青森県猟友会の六戸支部に在籍する6名が狩猟や捕獲に携わっています。この事業は、有害駆除

として捕獲をしたいと申し出た方に許可証を発行したもので、予算はかかっています。

町道の除草

問 種市 正孝 委員

町道の除草業務を行った路線は、どのように決められたのか。職員によるパトロールなどは

答 外山建設下水道課長

町道除草業務を行った路線は、主に交通量の多いところを実施しております。交通量の少ない路線については、町内会や地元からの要望があれば、実施も可能です。要望をお願いしたいと思います。パトロールは随時行っており、ひどい所があれば、業者に委託し除草を実施

しています。

問 久田 伸一 委員

町道には縁石と歩道があるが、縁石にすい草が伸びている。草が伸びていると、歩道の邪魔であり、さらに通学路の歩道も同様である。道路だけではなく、歩道や縁石にも気を配ってほしい

答 外山建設下水道課長

線幹道路の縁石も除草作業は随時行っております。県道については、パトロールで気がついた分や、住民の方から要望があった分を県へ連絡し、作業をお願いしています。



縁石に草



すぎやま しげお
杉山 茂夫 議員

県道押込交差点の交通安全対策は

通行車両の状況を調査し、県に要望したい — 町長



交通事故多発の押込交差点

問 県道主要地方道八戸三沢線の押込交差点は、通学路やお寺に行く高齢者が横断する交差点で、交通事故の要注意箇所である。道路拡幅など県に要望する考えは

町長 見通しの確保など交差点改良や拡幅整備が交通事故防止対策上必要と考え、通行車両の状況を調査し、県単独道路事業の視距改良の要望等をしてまいります。

問 ふるさと納税が81万円の赤字と報道されたが、昨年度の寄附額と控除額の件数と金額は

町長 平成29年度実績は寄附が15件で85万円、住民税控除が48件で166万2千円です。

問 ふるさと納税の収支を黒字とするための取組みは

町長 寄附額の増収を図るためのPRや返礼品など今後の取組みは

ふるさと納税の今後の対応は

ふるさとチョイスのサイトと検討チームで適切に — 町長

町長 昨年度までは広報とホームページへの掲載でしたが、本年4月より「ふるさとチョイス」のインターネット・サイトを利用して、PR効果は拡大したと思います。また返礼品の充実では、町ふるさと納税特典検討チームが中心となり、総務省の指導に沿って進めて参ります。

問 大館市の秋田犬の保存や弘前市の一口城主のようなソフト的発想で、例えば館野公園や奥入瀬川河川敷の桜植樹オーナー制度などの考えは

副町長 ふるさと納税の意思表示の切り口は、自治体宛てや返礼品の魅力、あるいは災害支援等、納税するきっかけがあります。ゴルフ場など金券的なものも含め、総務省の通達をもとに適正なもので検討していきます。良いアイデアがありましたら検討チームにお寄せください。

ラジオ体操の普及を図るため、NHK巡回ラジオ体操の招致の考えは

招致に向けて調査し、取り組んでみたい — 町長

問 2年後の町総合体育館リニューアル・オープン記念に、NHK巡回ラジオ体操の招致の考えは

町長 ラジオ体操は、町民の運動意識の高揚と健康増進施策の一環として有意義なものと考えており、リニューアル・オープンの関連事業を初め、実施に向けて調査し、取り組んでみたい。



たね いち まさ たか
種市 正孝 議員

新たな定住促進事業を

当面は現在実施中の事業のみで — 町長

問 現在、当町で行われている定住促進事業は

町長

新築住宅の建設費用の3%（限度額50万円）を補助する、定住促進新築住宅建設補助金事業。40歳未満の夫婦には10万円加算されます。

民間賃貸住宅に入居する若者夫婦の家賃の一部（限度額2万円/2年間）を補助する、若者定住支援事業です。

子ども医療費助成などの、子育て支援事業も、広い意味での定住事業と考えています。



人口が増え続ける小松ヶ丘地区

問

近隣の自治体も町と類似した定住促進事業を行っている中、今後の当町の定住促進事業の効果は

町長

現在は定住促進事業と地理的優位性から、人口増となっています。今後は、社会情勢などから、いままでのようにはいかないと感じています。

問

他の自治体でも、行っているところがある、奨学金返済額の一部助成を、町内の子供達のUターン定住につなげる考えは

町長

一定の成果が期待できると思うが、奨学金利用者を対象に優遇措置を行うことは、初めから地元を拠点に就労している人たちとの整合

性の観点から理解を得難いと考えます。

現在行っている二つの定住促進事業を中心に、子育て支援事業を展開し、住みよい生活環境を整備していくことが、定住効果を上げる近道と考えます。

問

若い方々の定住を促すとともに、子育てや介護の支え合いの促進、地域コミュニティの次世代の担い手の確保等の観点から、三世同居の増改築等費用の一部助成を行う考えは

町長

三世同居を進めることが、定住施策として、どの程度効果があるのか、予想できない事案であるかと思えますので、今のところ実施する考えはありません。現在行っている二つの定住事業に予算的にも相

当の金額を充てておりませんので、ご理解いただきたい。

問

町全体では、人口増となっているが、既存の地区では人口が減少しているところもある。このような地区への定住を促す意味でも、三世同居の助成を行う事は出来ないか

町長

助成を行う事によって、地域の偏在的な意味合いが、解消・改善するかと、難しいのではないかと考えます。

ただ、検討をしている周辺自治体を調査し、今後三世代という部分は六戸町でどうするのか、考えていきたいと思えます。



県外視察研修報告

先進地に学ぶ

議会改革・空き家対策・定住促進・結婚支援

7月30日から8月2日まで、議会議員全員による県外視察研修を行いました。議会改革の取り組みと意見交換会について長野県佐久市議会、地元の特産品を使った地域活性化施設を学ぶ富山県立山町、空き家対策事業の富山県射水市、定住促進を支援・結婚相談事業の石川県津幡町の計4市町を視察しました。全議員の感想をご紹介します。

富山県 射水市

- 空き家対策事業の取り組み
→ 老朽空き家の解体や解体後の跡地利用補助 / 空き家情報バンク開設
- 議場システム視察 (H28年度導入)

石川県 津幡町

- 定住促進支援制度の取り組み
→ 三世代ファミリー同居等促進事業補助金 / 農村定住奨励金 / 結婚相談事業

長野県 佐久市議会

- 議会改革の取り組みと意見交換会
→ 意見交換会実施後の検証 / 議員間の自由討議 / 佐久市手話言語条例の制定に至るまで (H28年度導入)



事業の説明を受ける(津幡町役場にて)



富山県 立山町

- 地域活性化施設「立山町まちなかファーム」
→ 町内産の米を使った米粉パンの製造・販売 / 立山ブランド認定品等特産品の販売

地元ブランドを販売する「立山町まちなかファーム」



意見交換から議員提案へ

佐久市議会では、意見交換会を広報広聴特別委員会が主管し、市民からの意見や要望は、常任委員会や特別委員会に振り分けられ、翌年の議会報告意見交換会で報告、または今後の議員活動に生かしています。

また、市議会の総意として市政に反映する時は、各委員会で政策検討会幹事会へ提案し、議会の意見集約を経て市へ提言しています。

実際、議員提案による佐久市手話言語条例や佐久市清酒の普及の促進に関する条例等を制定し、佐久市民の日の議場コンサートも行っています。 [杉山 茂夫 議員]

当町でも導入検討を

射水市の「明日の射水市を担う若者定住助成金制度」は、奨学金返還額の一部を市で助成し、若者の定住・移住を促そうという制度です。

また、津幡町の「三世代ファミリー同居等促進事業」は、祖父母世代と親子世代で同居を行うための新築・増改築等の費用を町が一部補助する事業です。三世代が同じ家で暮らすことで子育てしやすい環境を整備し、定住人口の増加を目的としたものです。以上の2点は当町でも導入を検討すべき事業ではないかと感じました。 [種市 正孝 議員]

市民・町民に開かれた議会

佐久市議会は「議会と語ろう会」を実施し、車座による意見交換から議員提案で手話言語条例を制定し、障がいのある方に優しいまちづくりのきっかけとなりました。

立山町の「まちなかファーム」は、町内農家の生産活動を支援した取り組みです。また、射水市の空き家対策、津幡町の定住促進事業の取り組みを通じて、市民・町民に開かれた議会を目指してがんばっていると思いました。 [長根 一男 議員]

議員間討議は議会改革の要

佐久市議会では、平成26年度から、市内に出向いて意見交換会を開催しています。参加者を増やすために、意見交換会を車座で実施するなど、話しやすい雰囲気づくりに工夫を凝らしていました。

六戸町議会でも、意見交換会の開催方法の工夫や、政策提言・条例制定等これからの議会改革を進めるためにも、議員間討議を行わなければならないと感じました。

【母良田 昭 議員】

視察研修を活かした提言へ

立山町で「まちなかファーム」を視察研修しました。町の中心商店街を活性化するため、老朽化したまちの駅を建て替え、町内農家の生産活動を支援した取り組みについて学ぶことができました。

津幡町では、定住促進支援制度について研修しました。なかでも三世代で同居等を行うための住宅取得に要する費用の一部補助、または農山村地区限定で定住奨励金制度を実施するなど勉強になりました。これら視察研修したことを今後、提言していきたいと思います。

【山本 実 議員】

現場で感じた熱意

佐久市議会の意見交換会は、住民の自主的な参加がされているとのこと。議員の皆さんの平素からの活動が住民の自主参加を促していると思いました。私も議員もそのような活動を行わなければならないと感じました。

立山町の「まちなかファーム」は町の中央にあり、地産販売のイベントを頻繁に開催していることから、町中心部から活性化を図ろうとする熱意を感じました。

射水市の老朽空き家の解体や解体後の跡地利用補助、津幡町の三世代ファミリー同居等促進事業や、結婚相談事業の取り組みは素晴らしいと思うし、当町も実施の余地があると思います。 【苫米地 繁雄 議員】

町の特性を活かした対策を

当町は八戸市、三沢市、十和田市に多数が通勤するベッドタウンです。定住対策を行っており、人口は増加傾向にあるものの、近い将来、当町の人口も減少すると思われます。

その際は、町の特性を活かした活性化が重要課題で、農村地域の持続が求められます。農村部や市街地の「活性化」、「人口減少」対策に農村定住奨励金、空き家バンク奨励金、三世代同居促進奨励金等の活用が有効だと思われます。

【川村 重光 議員】

工夫された空き家対策

射水市は空き家対策について、生活環境の保全・安全安心な地域社会の実現に寄与することを目的に、かなり踏み込んだ支援事業が実施されていました。

法律で規制するだけでなく、行動を起こさせることも大切なことと受け止めました。事実、解体補助金については目標値を超えている勢いでした。

そのほか、三世代同居住宅支援事業や空き家情報のネットワーク化、PR等も工夫をして経費をかけないやり方をしていました。六戸町でも今後発生するであろう空き家対策に大いに参考になりました。

【河野 豊 議員】

政策提案まで確立したシステム

佐久市議会では、基本条例を平成25年3月に制定し、同年4月に施行、以来国内でも先進の取り組みを行っています。

毎年市内5地区（小学校学区）の会場での議会報告・意見交換会「議員と語ろう会」を実施しています。特に、意見交換会で出た意見や課題について、議会内で検証し、分析・分類し、市執行部への政策立案・提言へと、そのシステムがしっかり確立しているのが、とても印象に残りました。 【円子 徳通 議員】

人口増へつなぐこまやかな政策

石川県のほぼ中央に位置し、金沢市のベッドタウンでもある津幡町において、定住促進支援制度と結婚相談事業の取り組みを視察しました。定住につなげる事業としていろいろな政策を取り入れ、年間約150件の定住の奨励金が利用されています。

結婚相談事業では、結婚推進委員を設けて婚活イベント等を支援。結婚のためのアドバイスや相談を受け、成婚につながっており、人口増へと結びついています。

今後当町でも定住促進・人口増につながる、こまやかな政策を講じるべきと感じました。

【久田 伸一 議員】

結果が厳しい結婚相談事業

佐久市議会の意見交換会は、身近における問題点について、即議員間で討議し解決に向けた対応が印象深かったです。

射水市の空き家対策については、我々も勉強し真剣に取り組む必要があると感じました。

津幡町の定住促進支援制度は、社会増対策と自然増対策の2本柱で策定されており、非常に興味深い内容でした。特に、結婚相談事業は大いに期待していたが、結果についてはとても厳しいものだと感じました。

【高坂 茂 議員】

住民が多く参加する報告会を

佐久市議会では、平成23年度から「議会報告会・意見交換会」を実施していますが、最初は住民の関心もあり、335名の参加がありました。昨年度は72名まで落ち込んだそうです。担当は、広報広聴特別委員会でした。

当町と同じ悩みを抱えており、今後は議会基本条例に沿った活動をしていくために、視察で得た教訓をもとに多くの住民が参加する「議会報告会」を目指して取り組みます。

【下田 敏美 議員】

開かれた議会に向けて

議会だよりの更なる向上のため、10月10日、東京での全国町村議会広報研修会に参加した。

テーマは、「読み手に伝わる文章の書き方」「デザインの力で、もっと伝わる議会広報誌に」「最優秀・優秀賞作に見る光彩を放つ編集力」の3つで、プロの新聞記者やデザイナーの講師が、実際の紙面を使っての講義である。



「多くの議会だよりのステップアップを目指す」

研修で学んだ事を要約すると、文は主語・述語をしっかり対応させ、一つの要素で一文。句読点の意味と使い方。あくまで読み手側の立場での文章作り。タイトルやリードの大小・太さ・飾り等、読者の目が行くデザイン。5W1HのWhyで、より深く掘り下げる文章などである。

また、広報全国コンクール最優秀賞の埼玉県寄居町議会と6年前に視察した優秀賞の山形県川西町議会は、さすがに行き届いた編集と内容であった。「多くの議会だより」も更なるステップアップをしながら、初の入賞を目指して研鑽して参りたい。町民の皆様が期待する、開かれた議会に向けて。

議会広報委員長
杉山 茂夫

議会改革、意見を交換



徳島県松茂町議会の皆さんと

10月11日、徳島県松茂町議会が視察に当町を訪れました。この視察の目的は、当町議会が制定した議会基本条例や地域住民との意見交換会などの議会改革の活動を知りたいというものです。来町された議員の方々から多くの質問や意見が出され、当町議員との意見を交換しました。

議会傍聴

いかがですか

町のこれからの話し合う議会を傍聴してみませんか？

9月定例会は19人が傍聴しました。

☎ 議会事務局 55-4547

議会のイベント(30年9月～8月)

6月

- 1日 第2回六戸町議会定例会(～5日)
- 産業民生常任委員会
- 5日 議会広報委員会
- 7日 *第9回六戸町長杯グラウンド・ゴルフ交歓大会
- 全員協議会
- 議員研修会
- 18日 八戸西スマートインタビュー エンジン現地視察
- 21日 全員協議会
- *十和田地域消防安全管理者協会総会
- 24日 *三沢地区消防団連合観閲式
- 25日 *青森中央学院大学にて議長講演
- 26日 *JAおいらせ通常総代会
- 29日 *北奥羽開発促進協議会定例総会及び50周年記念講演会
- 30日 *十和田警察官友の会集いの会

7月

- 1日 横浜町制施行60周年記念式典
- 6日 議会広報委員会
- 11日 *全国地方議会サミット 2018(～12日)

8月

- 12日 県下町村議会議員研修会(青森市)
- 17日 議会運営委員会 全員協議会
- 19日 *定例総会
- ①八戸・十和田・小坂間、地域高規格道路整備促進期成同盟会
- ②八戸・十和田・奥入瀬ライン整備促進期成同盟会
- ③主要地方道三沢十和田線整備促進期成同盟会
- 27日 *郡町村議会議長会第2回定例会
- 30日 行政視察研修(長野県佐久市、富山県立山町、射水市、石川県津幡町(～8月2日))
- 10日 総務常任委員会
- 15日 六戸町成人式
- 21日 総務常任委員会
- 28日 *青森県民駅伝競走大会 選手・役員結団式
- 30日 *秋季例大祭前夜祭
- 31日 六戸秋まつり(～9月2日)

*印は議長のみ出席



「若者」の生の声に耳を傾ける



選挙、政治、行政に関心を持つ子ども達を町に増やすために、これから取り組みたいことをグループ内で発表

9月6日、町議会は町明るい選挙推進協議会委員、青森中央学院大学の大学生、町役場の若手職員と意見交換会を開きました。

今回のテーマは「18歳選挙権で創る町の未来」。若者の選挙投票率を上げるためにどうしたらいいか6テーブルに分かれて話し合いました。

「なぜ若者は選挙にいけないか」「どうすれば若者が行きたくなるか」「これから取り組むこと」の3つのキーワードをもとに、話し合いを展開させ、たくさん意見やアイデアが出されました。

12人
ギカイ
×
6人
明るい選挙推進協議会
×
9人
青森中央学院大学

若者の選挙

投票率

アップさせるには？



●なぜ若者は選挙に行かない？

面倒くさい／政治に興味が無い／投票所の雰囲気か堅い／投票するメリットを感じない／近くに投票所がない

●どうすれば若者が行きたくなる？

若者が立候補する／雰囲気づくり(買い物しながら、友達と気楽に行ける)／投票を義務化。投票しない人は罰金／小・中学生から教育／投票した人にプレゼント／インターネット投票／普段から議員と若者が話し合える場を作る

●これから取り組みたいこと

若者と議員の意見交換会を実施／子ども議会を開き、実際に出たアイデアを町の政策に活かす／家庭で話題に取り上げる／小・中学校の授業に取り入れる(社会科見学など)／SNSで行政や議会を発信する

意見を聞ける場が貴重

町明るい選挙推進協議会
会長 盛田 嘉彦さん



一方的な話だけを聞くのではなく、みんなの意見を聞いて考える今回の意見交換会はとても貴重でありがたかったです。

皆さんから聞いた意見をもとに、明るい選挙推進協議会もがんばります！



こども園えがおの子どもたちによるアトラクションの一コマ。おじいちゃん、おばあちゃんの前で並んでハイタッチ！見ていてほっこりする瞬間でした。

大好きな おじいちゃん・おばあちゃん

広報委員の
ちょっと
ひと休み ☕

最後に、こども園えがおの園児のみんながアトラクションを披露して、楽しい敬老会でした。元気で長寿の町を目指して、みんながんばりましょう。

(長根 一男)

9月14日、六戸町敬老会が開催されました。表彰式のと、各小学校1年生の子どもたち3人が「大好きなおじいちゃん、おばあちゃん。いつまでも長生きしてね」と作文を発表しました。お年寄りを思う気持ちがいっぱい伝わる、素晴らしい作文でした。聞いていた私たちがすがすがしい気持ちのよい一日でありました。

町民の声

町民の皆さんの
がんばりは町の元気!!

今回は、小松ヶ丘
連合町内会祭典委員
長の吉田敏宏さんで
す。

吉田敏宏さん

■プロフィール(よしだ としひろ)
小松ヶ丘地区在住。三沢市出身。31歳のときに
福祉関係の仕事に携わる。現在は、小松ヶ丘地区
福祉施設の施設長として勤務している。

町を盛り上げる任意の団体『6door, s
(シックス・ドアーズ)※』の活動を通じ、新興地
域の小松ヶ丘地区のコミュニティづくりを考える
ようになる。

小松ヶ丘連合町内会祭典委員長に就任し、町中
心部から離れた小松ヶ丘でも、地区の子ども達が
六戸秋まつりに出られるように「子どもみこし」
の参加を呼びかけ、130人以上が製作に携わり、
40人の子ども達が担ぎ手として参加した。同地区
初の秋まつりに参加にこぎ着けた。休日はドライブ
を兼ねて妻と温泉巡りを楽しむ。41歳。



子ども達に「六戸」を 知ってほしい

三沢市から小松ヶ丘地
区に移住して6年経ちま
すが、六戸町に住んでい
る感覚があまりなかった
です。町内会でも六戸の
秋まつりに行ったことが
ないという人もたくさん
いました。ということば、
今、小松ヶ丘に住んでい
る子ども達は故郷を知ら
ないで生きて行くんじゃ
ないかな?と思いました。

それで、六戸のお祭り
に子ども達が関わって町
の歴史を知ることが必要
だと感じました。
子ども達が将来、故郷、
六戸のことを話してくれ
るようになればいいなと
思っています。

地域の皆さんの バックアップ

秋まつりの参加は我々
小松ヶ丘連合町内会単独
ではできなかつたと思い
ます。秋まつりの参加の
きっかけをいただいた6
door, s (シックス・
ドアーズ)と、みこし製
作に協力してくれた楓
(かえで)組、子ども達

住んでいるみんなが 携われる祭りに

と普段から携わっている
大曲小学校学童保育所
の方々のバックアップが本
当に大きかったです。
連合町内会も有志の方
がたくさん手伝ってくだ
さいました。小学生だけ
ではなく、兄弟姉妹の小
さな子どもたちも参加し
てくれました。

祭りに参加して、子ど
も達はとても喜んでいま
した。
最初は祭り自体を分か
らない子ども達が、初め



六戸秋まつりに参加した子どもみこし。お揃いの法被を着た子ども達は「ワッショイ!ワッショイ!」。担ぎ手の威勢のよい声に、会場は盛り上がりを見せました。

てのみこしづくりを通じ
て「ちゃんとしたみこし
を作っている」という意
識が生まれたと思います。
この2か月で子ども達の
成長を直に感じられまし
た。
保護者の方々も、この
ような機会がなかつたと
言っていましたので、来
年ももっと多くの方が携
われるようにしたいなと
思います。

(聞き手 杉山委員長
種市副委員長)

編集後記

皆さんは「eスポーツ」
をご存知ですか。「eスポ
ーツ」とは、エレクトロニ
ック・スポーツの略称で、
コンピュータゲーム、ビ
デオゲームを使った対戦を
スポーツ競技として捉える
際の名称らしいです。

2022年に中国で開催
されるオリンピックのアジ
ア版、アジア競技大会の正
式種目にも決定しており、
9月には、青森市で初大会
が開催され、大いに盛り上
がったようです。

「スポーツの秋なんだか
ら、家の中にばかりいな
いで何かしなさい」
「大丈夫、今、eスポ
ーツしてるから」

近い将来、こんな親子の
会話が聞こえてくるかもし
れませんね。

広報委員 種市 正孝

- 議会広報委員会
- 委員長 杉山 茂夫
 - 副委員長 種市 正孝
 - 委員 河野 重豊
 - 川村 重光
 - 高坂 一男
 - 長根 茂
- 発行責任者 議長 円子 徳通